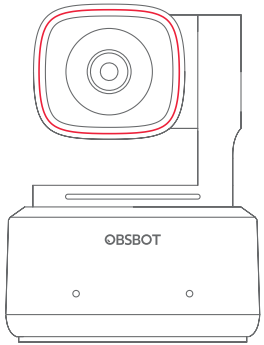


v1.1

マニュアル

日本語

リーディングガイド

注意

⚠ 重要な考慮事項

推奨事項

ユーザーの皆様には、まず、チュートリアル動画を視聴し、取扱説明書を読まれた上で、使用方法をご理解いただくことをお勧めします。
https://www.obsbot.com/download

チュートリアル動画

ユーザーの皆様は、以下のリンクとQRコードからチュートリアル動画にアクセスして視聴し、本製品の正しい使用方法をご確認ください。
https://www.obsbot.com/explore/obsbot-tiny-2

OBSBOT Tiny 2 の概要

Tiny 2について

OBSBOT Tiny 2 は、2軸ジンバルを装備した AI 搭載の PTZ ウェブカメラです。アルゴリズム技術をさらに刷新し、様々なインテリジェント撮影モードが追加されています。さらに、様々なシーンでユーザーのニーズに応えるために、ジェスチャーコントロールや音声コントロール機能が追加されています。
OBSBOT Tiny 2 は、USB でパソコンに接続し、プラグアンドプレイで使用します。また、より高度な機能を拡張するための OBSBOT Center 用ソフトウェアが付属しています。

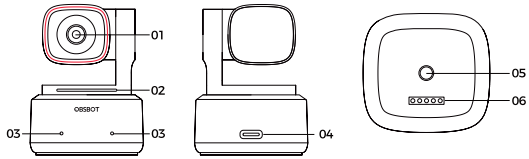
⚠ 接続に関する提案：USB 3.0 ポート
OBSBOT Tiny 2 を初めて使用するときに、画面遅延/タイムラグ/フラッシュ、デバイスの自動リセットと再起動などの現象が発生した場合、Tiny 2 が USB 2.0 ポートに接続されている可能性があります。正常な動作を確保するために、USB 3.0ポートに切り替えてください。

⚠ システムの要件
Windows 10(64-bit)以降
macOS 11.0以降

⚠ 1080p 60fps および4Kの推奨
推奨のAppleコンピュータ：
① MacBook Pro (2018, 8th Gen Intel® Core™ i5プロセッサ以降)
② MacBook Air (2018, 8th Gen Intel® Core™ i5プロセッサ以降)
③ iMac Retina (2019, 8th Gen Intel® Core™ i5プロセッサ以降)

推奨のPC設定：
① CPU: 7th Gen Intel® Core™ i5プロセッサ以降
② RAM: 8GB

部品の情報



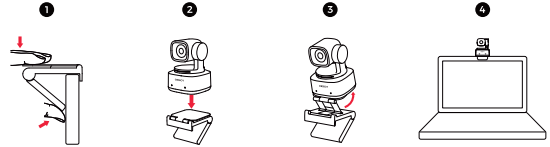
01. 4K ウルトラ HD レンズ
02. カメラインジケータ
03. デュアルマイクロフォン
04. USB-C ポート
05. UNC 1/4-20インターフェース
06. 拡張ポート

Tiny 2 のセットアップ

取付についての説明

1. モニターへの取付

以下の図のように操作してください。
① 調整式スタンドを開き、モニターの上に置きます。
② OBSBOT Tiny 2 を調整式スタンドの上に置きます。
③ 必要に応じてカメラを適切に傾け、ファインダーが最適な位置になるように調整します。



2. デスクトップへの取付

Tiny 2 をデスクトップに直接置きます。

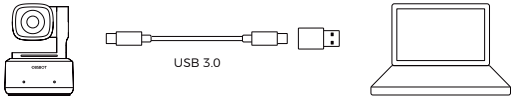
3. 三脚への取付

OBSBOT Tiny 2 は、カメラをスタンド/三脚に取り付けるための標準的な 1/4-20 ナットコネクタをベース部に装備しています。

パソコンへの取付

OBSBOT Tiny 2 は、Windows と Mac の両方のコンピュータに対応しています。OBSBOT Tiny 2 をセットアップするには、標準のデータケーブルを使用して、ノートパソコンまたはデスクトップのUSB 3.0 ポートに接続してください。必要に応じて、付属の USB-C to USB-A アダプターを使用してください。ウェブカメラは、自動的にデバイスにインストールされます。インストールが完了するまで数秒待ってから、ウェブカメラへのアクセスを試みてください。インストールが完了したら、Zoom、Microsoft Teams、Skype、Google Meet などの一般的なビデオ通話プラットフォームを使用して、Tiny 2 とのストリーミングを開始することができます。

⚠
① 製品が長時間動作状態にある場合、製品の底部が熱くなりますが、これは正常な状態です。
② 互換性の問題を避けるため、パソコンとの接続には、必ず標準のデータケーブルを使用してください。
③ 電源不足による製品の故障を防止するため、パソコンに直接接続するか、独立した電源のある拡張ドックを使用してください。また、アクセスポートが USB 3.0 であることを確認してください。
④ 4K ストリーミングには対応する他社製のソフトウェアが必要です。

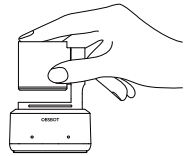


ジンバル

OBSBOT Tiny 2 は、2軸ブラシレスモータージンバルを搭載しています。制御可能な回転範囲は、パンが ±140°、チルトが 30°～-70° です。

スリープボード

① 手動スリープ
レンズが真下を向くように調整してください。インジケータライトが消灯している場合は、スリープモードが動作していることを意味します。
② デバイス自動スリープ
OBSBOT Center 用ソフトウェアを使用してスリープ時間を設定し、必要に応じて自動的にスリープモードに入るようにすることができます。



ジェスチャーコントロール 2.0

人物追跡のオン/オフ
人物追跡モードに入るには、図のようなジェスチャーを行います。現在のステータスライトが連続して 2 回点滅した後、青色の安定した状態に変わり、人物追跡モードに正常に移行したことを示します。
人物追跡モードを終了するには、もう一度同じジェスチャーを行います。青色のステータスライトが連続して 2 回点滅した後、緑色の安定した状態に変わり、人物追跡モードを正常に終了したことを示します。

2倍ズーム（デフォルト）／キャンセル
図のようにジェスチャーコントロールを行います。ステータスライトが 2 回連続で点滅し、ズームイン／アウトの操作が行われたことを示します。

ダイナミックズーム
図のようにジェスチャーコントロールを行い、ステータスライトが点滅し始めたら、ダイナミックズーム機能が有効になったことを意味します。両手間の距離の変化に応じて、ジェスチャーが検出されなくなるか、ズーム状態が調整できなくなるまで、ズームインまたはズームアウトを行います。

⚠ 手で顔を覆わないように注意し、ジェスチャーコントロールのために指を開いておいてください。
⚠ ジェスチャーコントロールのチュートリアル動画は、以下のリンクからご覧ください。
https://www.obsbot.com/explore/obsbot-tiny-2

音声コントロール

OBSBOT Tiny 2 は、音声コントロールを導入することで、ウェブカメラとの対話方法に革命をもたらし、よりスムーズなビデオ通話を実現しました。

音声コマンド	パラフレーズ
Hi, Tiny	カメラを起こす
Sleep, Tiny	スリープモードに入る
Track Me	人物追跡をオンにする
Unlock Me	人物追跡をオフにする
Zoom in Closer	2倍ズーム（デフォルト）
Zoom out Further	1倍に戻る
Position One	プリセットポジション 1 に更新
Position Two	プリセットポジション 2 に更新
Position Three	プリセットポジション 3 に更新

⚠ OBSBOT Center でプリセット位置を追加してから、音声制御を行ってください。

ズーム

OBSBOT Tiny 2 は、4倍デジタルズームに対応しています。
① ジェスチャーコントロール
デフォルトでは、ズーム設定は2倍です。ユーザーは、OBSBOT Center 用ソフトウェアにより、1倍から4倍のカスタマイズされたジェスチャーズーム設定を作成することができます。

② 音声コントロール
デフォルトでは、ズーム設定は2倍です。ユーザーは、OBSBOT Center 用ソフトウェアにより、1倍から4倍のカスタマイズされた音声ズーム設定を作成することができます。
③ 手動コントロール
ユーザーは、OBSBOT Center 用ソフトウェアにより、1倍から4倍のズーム設定の手動コントロールを行うことができます。

フォーカス

OBSBOT Tiny 2 は、2つのフォーカス方式に対応しています。
① オートフォーカス
OBSBOT の高度な AI 技術を活用したオートフォーカス機能は、リアルタイムでレンズをインテリジェントに調整し、カメラとの接近度に関係なく、常に焦点が合った状態であることを保証します。
② 手動フォーカス
OBSBOT Center 用ソフトウェアを使用する場合、ユーザーは、オートフォーカス機能を無効にし、手動で焦点を調整することができます。

HDR

デフォルトでは、HDR 機能は無効になっています。しかし、OBSBOT Center 用ソフトウェアでHDRを有効にするオプションがあり、低照度や直射日光の下でも、ビデオに映る自分の外観を良くすることができます。

様々な撮影モード

OBSBOT Tiny 2 は、4つの撮影モードを備えており、横向モードがデフォルトとなっています。
① 横向きモード
このモードは、従来の装着カメラに適しています。
② ポートレートモード
外部付属品を使ってカメラを水平に配置すると、自動的にポートレートモードになります。
⚠ この自動回転 機能は、OBS などの対応するソフトウェアでのみ使用可能です。それ以外のソフトウェアでは、手動で回転させる必要がある場合があります。
③ 下向きモード
外部付属品を使って撮影対象物の上にカメラを吊るすと、自動的に下向きモードになります。絵画、手作り工芸品の作成、ピアノ演奏などに適しています。
④ 逆さまモード
カメラは、逆さまに設置することができ、画面は、使用に合わせて自動的に回転します。

人物追跡

ジェスチャーコントロールや音声コントロール、またはOBSBOT Center 用ソフトウェアを使用して人物追跡を有効にします。OBSBOT Tiny 2 は、人物が最適な構図になるように自動追跡します。さらに、アプリでゾーン追跡を有効にすることで、よりクリエイティブなゲームプレーが可能になります。

グループモード

グループモードを有効にすると、参加者が画像に入るか否かによって、表示が自動的に調整されます。これにより、全員が適切にカバーされ、見えるようになります。グループをより多く使うことで、常に適切に焦点が合った表示が可能になります。

ハンド追跡

ハントラッキングを可能にするには、OBSBOT Center 用ソフトウェアを使用するだけです。
OBSBOT Tiny 2 は、画面上の手を自動的に検出して追跡し、必要に応じて追跡範囲を調整することができます。

ホワイトボードモード

OBSBOT Center を使用してホワイトボードモードに入ったり出たりすることで、OBSBOT Tiny 2 は、画面内のホワイトボードをインテリジェントに認識して表示を強化し、オンラインクラスや会議プレゼンテーションにおいて、より優れた視聴体験を提供します。

デスクモード

OBSBOT Center を使用してデスクトップモードを有効にすると、カメラは、自動的に 30度下に傾いてデスクトップを上から撮影し、自動的にショットを補正して高品質の視覚効果を得ることができます。
⚠ Tiny 2 に付属する調整式スタンドは、最適な視野角を確保するために手動で調整することができます。

インジケータの説明

機器の状態	インジケータの状態
電源投入時の初期化	青色のライトが周期的に点滅している場合は、製品が初期化中であることを示します
ターゲット未選択	緑色のライトが点灯し続けます
ジェスチャー/音声制御の実行	現在の状態を示すインジケータライトが連続して2回点滅し、その後、識別されたインジケータライトの状態に切り替わります
人物追跡有効	青色のライトが点灯し続けます
ターゲット紛失	黄色のライトが点灯し続けます
ハンド追跡有効	紫色のライトが点灯し続けます
ファームウェアのアップグレード	青色・黄色のライトが交互に点滅します
ファームウェアのアップグレード失敗	赤色のライトがゆっくり点滅します
デバイスの故障	赤色のライトが点灯し続けます
スリープモード	消灯

OBSBOT Center

ソフトウェアの概要

OBSBOT Tiny 2 は、Windows と Macの上級ユーザーに OBSBOT Center 用のコントロールソフトウェアを提供し、パン傾斜の動作軌跡の制御、追跡ターゲットの選択とキャンセル、プリセット設定や様々な創造的ゲームプレーの拡大など、カメラについて一連の拡大操作を行うことができます。

ダウンロードとインストール

https://www.obsbot.com/download で OBSBOT Center をダウンロードしてインストールしていただくと、さらに優れたユーザー体験を実現することができます。

ファームウェアのアップグレード

OBSBOT Tiny 2 は、OBSBOT Center 用ソフトウェアによってアップグレードします。ファームウェアがアップデート可能な場合、デバイスを接続した後、対応のプロンプトが表示されます。プロンプトの情報に従ってください。
⚠ ファームウェアのアップグレード中は、カメラの接続を外さないでください。